

寄稿

シニアクラブ「夢」

片岡長生会会長 大類 正雄

シニアクラブ「夢」は矢板市シニアクラブ連合会の中の片岡長生会の活動です。ちなみに連合会では古いイメージを払拭し、躍動とフレッシュ

問団「夢」なのです。「夢」は歳を重ねても夢を持ち続けようという名付けました。

★許せない振り込め詐欺 さて「世代を超えて頑張り、社会に貢献してきた高齢者を敬愛する社会文化の行く末は？」と考

感を目指し、平成二十三年十二月九日付で「老人」クラブを「シニア」クラブに名称を改めています。

★慰問団「夢」はこうして始まった

矢板市も高齢化が進み、高齢人口が増えているのにシニアクラブに入りが少ない人が多くいます。

あるアンケートによると老人会に魅力がないという声が聞かれ、これを踏まえて会の活動を見直すことから始めました。

「会員」には芸達者が多くいる。この芸を生きがいと喜びに変えよう。これからは老老介護の時代が来る。いやもう来ているのかもかもしれない。高齢者（老人会）が高齢者施設を訪問し慰問する時がきているのでは」この発想から結成されたのが慰

問団「夢」なのです。「夢」は歳を重ねても夢を持ち続けようという名付けました。

また慰問活動が新聞に載ったり、とちぎテレビ・イブニング6で放送されたりしました。会員は活動の手ごたえに生き生きと輝き、更なる意欲に燃えています。

★最後にお願い

県シルバー大学で学んだ皆さん、シニアクラブが皆さんのデビューを望んでいます。会長のなり手がなく休止している会もありです。「活力ある地域社会を築くため、積極的に地域活動を実践する」このシルバー大学の目的をいつ実行するのですか？

「今でしょ!」



岡目八目



栃木銀行・矢板支店長

いさやま 砂山 直久さん (49歳)

宇都宮市生まれ、宇都宮市在住。平成24年6月から矢板支店長。シャープ工場の縮小問題、塩田の指定廃棄物最終処分場問題など大変な時期に就任した。趣味は健康維持もかねて自転車。輪行（自転車でツーリング）しながらJR各線の駅舎撮影をしたり、時には宇都宮環状線1周なども。

■矢板のお気に入り場所は？

道の駅やいたの前、道の駅から見た冬の高原山は素晴らしいですね。山登りはしますが高原山はまだないので、ぜひ登ってみたいと思っています。

また、片岡駅のツツジは見事です。そして十月の花火。空気が澄んでいる夜空に打ち上げられた花火は綺麗で素晴らしいです。

■矢板のお気に入り食堂は？

昼食は支店内の賄いもの食べています。取引先との関係で、個別の名前を上げるのは支障があります。ソバは美味しいですね。

■支店長から見た矢板の経済は？

矢板市は、さくら市、大田原市、那須塩原市に挟まれていて、伸び悩んでいます。将来に向けて積極的に取り組むとされている企業が多いと思います。

反面、飲食業が弱いように思います。これは幹線道路沿いに飲食店が少ないことが一つの要因ではないでしょうか。各商店でも、自店のウィークポイントを知っていて、それなりに商売していると思います。

■矢板の人について

埼玉支店に勤務していたときにも言われましたが、一般に栃木県民は保守的だと思います。矢板の人も保守的だとは思っていません。でも、思いやりがあり、まじめな人が多いですね。

■銀行からのお願い

皆さん銀行は数居

人が多くいますね。昨年二件の振り込め詐欺を予防したことで、当行員二名が警察から表彰を受け、支店としても犯罪防止に貢献した企業として県警表彰されました。

詐欺にあっている人は様子が違うので、声を掛けるようにしています。お客さんは思い込んでいて、説得するのが難しいですね。時には口喧嘩のようなこともあります。

■銀行からのお願い

皆さん銀行は数居

皆さん銀行は数居

編集後記

やいたの夏2014を終えて、「天気にはあまり恵まれなかったのですが、成り上がった。若いパワーにはたじたじでした。四つのイベントの素晴らしさを市民にもっと知ってほしいですね」と、実行委員長の高柳さん。若いパワーとシルバーの叡智が結びつく事で、矢板は大きく変わるかもしれません。

(T・M・K・H)